

## 第 1667 回例会報告

令和2年11月12日(木)晴

### 会長挨拶

#### 違いと異なることを楽しむ

会長 田中久登

10日諏訪グループの幹事会がありました。食事付きということで、各ロータリーのコロナ対策の話をお聞きとおもったのですが、あまり話題になりませんでした。諏訪グループのIM開催についての話が主でしたが、その中で、リモート参加の話が出ました。一か所に大勢を集めるのが困難であれば、リモートを使った参加を検討したいということです。今後このコロナ感染対策は長期化する可能性が高く、リモート利用はとて素晴らしいことだと申し上げておきました。食事会を開催するのも、体温のチェックとマスク、手のアルコール消毒、席の設け方の工夫程度しかありません、さらに工夫アイデアが必要とおもわれます、頻りに抗体検査などが行えるといいのですが、先日国のコロナウイルス検査体制の再目標が発表され、PCR検査 1日7.6万件 簡易キット抗体検査20万件を目指し、一般の病院で検査できるようになるとのことです。なお、IMは3月6日(土)にライフウラザマリオで行うとのこと。詳細については事務局をお願いします。世界では、コロナ感染者が5000万人超、死者127万人とのこと、アメリカでも感染者が1000万人を超えています。連日報道される、アメリカの大統領選挙結果と人種間の対立、民主主義国家が世界では50%を切り非民

主国家が増加しているとのこと。ただ民主主義国家の指数ファクターが適切かどうかかなり疑問なものもあります。ちなみに日本の順位は24位その低さの大きな理由は、女性の政治参加と選挙投票率の低さが原因とのこと、欧米の考え方が反映された必ずしも適切とは言えない指標も多数見受けられます。違いと役割、人種の違い、男女の違いとそれぞれの生きざま、宗教の違いと価値観の持ち方、私くしからすれば、背の高い人低い人、子供、大人、スポーツ人間、障害者、病弱な人、平凡なひと、さまざまな人間模様の中に生活できる喜び、面白さを感じ生きることの素晴らしさを、ロータリーは奉仕活動を通じ広めてゆく必要があると思います。

### ◇幹事報告◇

#### 【報告事項】

1. ガバナーノミニー(2022-2023年度ガバナー)決定されました。須坂五岳ロータリークラブの上沢広光(かみさわひろみつ)様です。ガバナーノミニー(2022-2023年度ガバナー)決定宣言を回覧いたします。ご覧ください
2. 2020年11月のロータリーレートは、1ドル=104円と連絡がありました。今月はロータリー財団寄付月刊ですので、円高でかなりお得になります

#### 【連絡事項】

1. 月信が届きました。レターボックスに入れてあります

♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のことば
会員数	38人	11人	21000円	小日向さんをお迎えして 平山隆勇 11月結婚祝いをありがとうございました 小林 聖仁 岩村先生のお花に感謝 近江 誠一 11月7日産業まつりには想定の倍以上の方々にお集まりいただき、大盛況でした。 御子柴 文夫 高齢者は高齢者をいたわりましょう 高山 巖
出席対象	37人	累計	261000円	
出席者数	23人	目標額	60万円	
出席率	62.2%	達成率	43.5%	
前回修正	100.0%			



【受領文書】

1. 友好クラブ、大津中央ロータリークラブから10月までのウィークリーと、クラブ概況報告書(事業計画書含む)が届きました。
2. 上田西RC創立30周年記念誌が届きました。

ガールスカウト長野15団  
2020年のあゆみ

諏訪湖ロータリークラブ様には、毎年ガールスカウト長野県第15団に過分なご厚志を頂き、感謝申し上げます。ありがとうございます。

諏訪湖ロータリークラブ様とは、諏訪湖清掃にて交流をさせて頂いております。スカウトたちはこの清掃活動を通して諏訪湖に関心を持ち、ゴミを減らしきれいにしようと行動しています。

ガールスカウト長野県第15団は今年度57回目の登録を日本連盟に行いました。57年間続いているということです。

現在スカウト27名 成人31名計58名そして団を支えて下さっている育成会の皆様で構成されています

さて今年度は予想もしていなかった新型コロナウイルス感染症が発症し、感染防止のため3月から年間計画してあった活動が次々取りやめになりました。初めてのことで、対応に苦労しました。STAY HOME期間が始まり、野外での活動ができなくなった為、家でできる活動を始めました。日本連盟からも家で長い時間過ごすガールスカウトがその時間を有効に使い、自分にできる事を増やし、人に役立つ機会とするためにSTAYHOMEバッジにおうちでチャレンジしようが提案され、早速取り組みを始めました。内容は

- ・知る 感染症について知る
- ・自分でやってみる 自分で目標を決めてチャレンジしてみる(本を10冊読む、脱いだ服をたたんだりするなど)
- ・人の役に立つ 家の仕事や手伝いを増やす、マスクを作って見るなどです

今月の結婚祝



左から小林聖仁会員、岩村亀夫会員、望月勉会員、御子柴文夫会員、小松孝弘会員、山崎勝彦会員の皆さん

第1667回例会  
ガールスカウト第15団  
助成金贈呈と卓話

ガールスカウト第15団 団委員長  
小日向みちほ様

本日はガールスカウト第15団、団委員長の小日向みちほさんをお迎えし、ガールスカウトの活動状況をお聞きするとともに、助成金を贈呈いたしました。「コロナ禍の中、活動費調達に苦労している」とのことで大変喜ばれました



助成金を贈呈する田中会長



おうちチャレンジのビンゴをつくり、記録カードやマスク飾りの材料をスカウトに配布しました。またキッチンペーパーで作るマスクやおやつ作りなども提



案しました。



スカウト達は、それぞれにチャレンジした成果を保護者が写真に撮ってLINEで報告をしてくれました。

その後、感染症対策が進み、マスク・手指消毒・三密を避けソーシャルディスタンスをとっての活動が少しずつ試みで始まりました。6月6日 文化センター噴水広場で入団式を行いました。戸外にてマスク着用・三密を避け、短時間で行いました。



また8月に日帰りのデイキャンプをいずみ湖で行いました。検温・手指消毒・体調観察をして、野外にてオリンピアバッジに挑戦のゲームをしたり、サモアのおやつを作りました。今年は感染防止のため宿泊はせず、いずみ湖は県外の人が多くキャンプをするので、安全にできるよう役場に協力を頂きました。半日の活動でしたが、久しぶりの野外活動だったのでスカウト達は思いつき楽しんでいました。



9月以降、感染対策をしっかりしながら活動が続いています。団バザーや産業祭の参加に向け、安

全対策について保護者の皆様と話し合いを重ねました。つねにマスク、体温、手指消毒に気をつけながら、11月三角八丁にて団バザーを行い、産業祭にも参加しました。密を避けるため、並ぶ位置を決める。お客さんの手指消毒の徹底、道具の消毒など気をつけながら行いました。少しではありますが、活動資金を捻出することができました。



又、文科省からも感染予防対策をしながら野外活動に取り組みましょうと提示され、地区や団での事業が8月から進められています。

今後も、新型コロナウイルス感染拡大の状況によって活動が制限されると思います。その時々状況にあわせ活動のやり方を考えて、スカウト達が安全に活動できるように取り組んでいきたいと思ひます。

これからも少女達の為にご支援の程宜しくお願い致します。

15団ではスカウトを募集しています。年長から入団できます。お知り合いの方がいましたら是非お声がけをお願いしたいと思います。宜しくお願いします。

ご静聴ありがとうございました。

これからもご支援よろしく  
お願いいたします



青少年奉仕委員会担当例会